

事務事業評価表 平成25年度

政策 豊かさ創造性を育む生涯学習環境の充実  
 施策 生涯学習の充実  
 基本事業 生涯学習支援体制の推進

事業名 **生涯学習団体支援事業**

[0613]

部名	教育部	事業開始年度	- 年度	実施計画事業認定	対象
課名	生涯学習課	事業終了年度	- 年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
<p>対象</p> <p>(誰、何に対して事業を行うのか) 江別市生涯学習推進協議会</p>	<p>手段</p> <p>(事務事業の内容、やり方、手段) 生涯学習の推進のための活動を行う団体の事業運営(市民主体の団体育成、学習支援のための講座や会員活動発表会の開催、情報誌の発行、HPの運営等)に対し補助金を交付する。</p>
<p>意図</p> <p>(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか) 生涯学習社会の実現に向け推進活動を行う団体の活性化を図る。</p>	

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	22年度実績	23年度実績	24年度実績	25年度当初
対象指標1	協議会会員数	団体	68	68	67	68
対象指標2						
活動指標1	補助金額	千円	1,000	1,000	1,000	1,000
活動指標2						
成果指標1	事業参加者数	人	577	1,699	4,282	1,850
成果指標2						
単位コスト指標						
事業費計(A)		千円	1,000	1,000	1,000	1,000
正職員人件費(B)		千円	1,209	1,204	1,202	1,208
総事業費(A)+ (B)		千円	2,209	2,204	2,202	2,208

費用内訳	
24年度	負担金 補助及び交付金 1,000千円

## 事業を取り巻く環境変化

事業開始背景		事業を取り巻く環境変化	発足当初は、法人化も念頭においた設立であったが、財政状況や社会環境の変化に伴い、停滞的な傾向にある。現代的な問題点を発見し、学習成果をその解決に生かす生涯学習の取組は、協働のまちづくりを目指すべく人づくりの核となるものであり、今後も継続した対応が必要である。
--------	--	-------------	---

## 24年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

義務的事務事業  
 妥当である  
 妥当性が低い

理由・  
 根拠は？

多様な生涯学習活動を実践している協議会の果たす役割は大きい。

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

貢献度大きい  
 貢献度ふつう  
 貢献度小さい  
 基礎的事務事業

理由・  
 根拠は？

生涯学習活動の必要性や重要性を市民に広めてきた貢献度は大きい。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでている理由、でていない理由は何ですか？

あがっている  
 どちらかといえばあがっている  
 あがらない

理由・  
 根拠は？

事業の内容によって、年度ごとの事業参加者数の波はあるものの、様々な生涯学習に係る事業を展開し実績を上げている。

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地 大  
 成果向上余地 中  
 成果向上余地 小・なし

理由・  
 根拠は？

加盟団体間の連携をより一層促進することにより、新たな学習機会の提供が期待できる。事業へのPR活動に力を入れることで、事業参加者数が向上する余地がある。

(5)現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

ある  
 ない

理由・  
 根拠は？

最低限の費用で、様々な生涯学習事業を実施していることから、補助金の著しい削減は、活動の停滞につながる。